

令和5年度 浅羽野中学校 音楽科シラバス（第1学年）

1 学習目標

- 曲想と音楽の構造や背景などの関り及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようする。
- 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようする。
- 主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

2 学習の進め方

- 1 歌唱では、姿勢、口形、呼吸法、発声法など、基本的なことを繰り返し練習します。
- 2 器楽では、器楽演奏・リズム奏法を中心に、基本的な奏法を身に付けます。
- 3 創作では、創意工夫を生かして音楽を作るために必要な技能を身に付けます。
- 4 曲の演奏・表現に必要な音符や記号などについて理解しましょう。
- 5 様々な時代や地域の音楽に興味・関心を持って鑑賞しましょう。

3 評価の観点・評価方法

評価の観点はA・B・Cの三段階です

評価方法

知識・技能	音楽を表現するための基礎的な知識・技能を身に付けている。	→	・授業中の取り組み ・実技テスト ・定期テスト ・ワークシート
思考・判断・表現	音や音楽のよさや美しさを感じ取り、それらを音楽活動の中で創意工夫して生かしている。	→	・授業中の取り組み ・歌唱・器楽・創作・鑑賞 ・実技テスト ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	音や音楽への興味・関心を持って、意欲的に表現しようとする。	→	・授業カード（自己評価） ・提出物 ・授業中の取り組み ・実技テスト ・定期テスト

評 定	学期末に1・2・3・4・5の5段階で示します。
-----	-------------------------

4 学習計画

学 期	お も な 学 習 内 容 <学校行事との関わり>	学 習 の ね ら い
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ○心を伝え合う歌い方を求めて <ul style="list-style-type: none"> ・校歌 ・合唱曲 ○音楽のもつ豊かな表現力を味わおう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ歌曲「魔王」 ○リズムを体で感じよう（器楽） <ul style="list-style-type: none"> ・ボディパーカッション ○アジアの諸民族の音楽に親しもう。（鑑賞） 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい仲間と声を合わせて楽しく表現することが出来る。 ・変声期についての知識を身に付け、自分の身体の状態について関心をもつことができる。 ・声の変化などを感じ取って聴き、楽曲がもつ表現の豊かさを味わうことができる。 ・詩の内容や音楽の構造から、場面を想起し、旋律の雰囲気を聴くことができる。 ・体で複雑なリズムを表現することができる。 ・音符や休符を読み取ることができる能力を身に付ける ・暮らしの中で育まれた音楽に親しみをもつことができ、音や音色の特徴を捉えることができる。 ・西洋音楽や日本音楽で使用される楽器と比較し、楽器の構造の違いや、奏法の違いによる音色の変化を聴き取ることができる。
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな混声合唱の響きを味わおう <校内合唱コンクール> <ul style="list-style-type: none"> ・学年合唱曲 ・各クラスの合唱曲 ○歌詞の内容を生かした表現をしよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・歌曲「赤とんぼ」 ・歌曲「浜辺の歌」 ○我が国の音楽に親しもう。 <ul style="list-style-type: none"> ・雅楽「越天楽」 ○情景を想像しながら聴こう。 <ul style="list-style-type: none"> ・春（第1楽章） ○リズムアンサンブルをつくろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱の楽しさを感じ取ることができる。 ・パートリーダーを中心として自主的に合唱の練習をすることができる。 ・各声部の役割を感じ取り、全体の響きに気をつけて合唱することができる。 ・指揮・伴奏者との協力で様々な表現方法を工夫して混声三部合唱を豊かな響きで歌い上げることができる。 ・日本語の持つ美しさを味わい、歌唱表現を工夫して歌うことができる。 ・情景と曲想の相関性を楽譜から読み取り、強弱や旋律の動きに着目させ、表現を工夫することができる。 ・日本伝統音楽で使用される楽器の音色や拍などの特徴を感じ取り、雅楽のよさを見出すことができる。 ・ソネットとともに曲の雰囲気を感じ取って音楽を聴くことができる。 ・情景や場面のイメージを、リズムによって表現することができる
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ○和楽器の響きと我が国の伝統的な歌唱に親しもう。 <ul style="list-style-type: none"> ・さくらさくら ・六段の調 ○日本の民謡に親しもう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ソーラン節 他 ○豊かな響きの混声合唱にしよう <卒業式> <ul style="list-style-type: none"> ・国歌・校歌 ・旅立ちの日に 	<ul style="list-style-type: none"> ・箏曲のチューニング方法である平調子の特徴を感じ取り、簡単な楽曲を弾くことができる。 ・箏の基本的な奏法や箏曲にふさわしい歌い方（唱歌）を学ぶことができる。 ・暮らしの中から生まれた仕事唄や娯楽によってうまれた座興歌等、生活と音楽について考えることができる ・卒業式に向けて心のこもった感性豊かな表現の工夫ができる。 ・一年間のまとめとして、混声合唱の豊かな響きを味わうことができる。

令和5年度 浅羽野中学校 音楽科シラバス（第2学年）

1 学習目標

- 曲想と音楽の構造や背景などの関り及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現するために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようとする。
- 主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

2 学習の進め方

- 1 歌唱では、基礎・基本的な西洋や日本の発声方法を理解し習得すると共に、独唱や齊唱、各パート別の練習を通じ、ハーモニー作りを練習します。
- 2 器楽では、ギター・打楽器・箏を中心とした器楽活動をします。
- 3 創作では、歌詞の抑揚に沿った旋律をつくったり、リズムを組み合わせて情景や様子などを表現したりなど、イメージしたことを音で自由に表現する活動を行います。
- 4 鑑賞では、音楽を形づくっている要素や曲の構造と曲想の関わりなどを発見して様々な音楽を聴きます。

3 評価の観点・評価方法

評価の観点はA・B・Cの三段階です

評価方法

知識・技能	音楽を表現するための基礎的な知識・技能を身に付けている。	→	・授業中の取り組み ・実技テスト ・定期テスト ・ワークシート
思考・判断・表現	音や音楽のよさや美しさを感じ取り、それらを音楽活動の中で創意工夫して生かしている。	→	・授業中の取り組み ・歌唱・器楽・創作・鑑賞 ・実技テスト ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	音や音楽への興味・関心を持って、意欲的に表現しようとする。	→	・授業カード（自己評価） ・提出物 ・授業中の取り組み ・実技テスト ・定期テスト

評 定	学期末に1・2・3・4・5の5段階で示します。
-----	-------------------------

4 学習計画

学 期	お も な 学 習 内 容 <学校行事との関わり>	学 習 の ね ら い
1学期	<p>○新しい仲間と気持ちを込めて表現しよう。 (歌唱)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合唱曲「夢の世界を」 ・合唱曲「翼をください」 <p>○オーケストラの豊かな表現を味わおう。 (鑑賞)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交響曲第5番ハ短調 Op.67 <p>○情景を想像して表現を工夫しよう。 (歌唱)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌曲「夏の思い出」 ・歌曲「荒城の月」 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい仲間と歌う喜びをわかつ合い曲趣を生かした発声で表情豊かに歌うことができる。 ・二重唱による美しいハーモニーをつくることができる。 ・多声音楽と和声音楽の違いに注目し、楽曲を仕上げることができる。 ・オーケストラの各楽器の音色や豊かな表現を味わって聴くことができる。 ・モティーフで構成される楽曲の音楽的効果について考えることができる。 ・歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい強弱記号や速度を工夫して歌うことができる。
2学期	<p>○豊かな合唱表現を追求しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年合唱曲 ・各クラスの合唱曲 <p>○総合芸術の多様な表現を味わおう (鑑賞)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎「勧進帳」 ・歌劇「アイーダ」 <p>○言葉の抑揚を生かして旋律をつくろう。 (創作)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各声部の役割を生かし、全体の響きに調和させて合唱することができる。 ・校内合唱コンクールへの参加を通して、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力と合唱する力をいっそう伸ばすことができる。 ・指揮、伴奏と仲間と協力して歌い合わせる 喜びを感じ取ることができます。 ・総合芸術としての歌舞伎や歌劇を比較して、表現力の豊かな響きを味わうことができる。 ・歌とオーケストラ、他の芸術分野による音楽的効果を感じ取ることができます。 ・歌舞伎独特の発声法を生かして歌うことができる。
3学期	<p>○打楽器の音色の組合せを工夫し、アンサンブルを楽しもう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・打楽器のための小品 <p>○パイプオルガンの響きを感じ、主題と応答に注目しながら聴こう。 (鑑賞)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「フーガ ト短調」 <p>○豊かな響きの混声合唱にしよう <卒業式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国歌・校歌 ・旅立ちの日に 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ分けと楽器編成の工夫ができる。 ・楽曲の特長を生かして、表現の工夫ができる。 ・打楽器の音色に着目し、様々な打楽器を使用しながら組み合わせの工夫を行うことができる。 <p>・パイプオルガンの構造を理解し、音楽の構成を理解することができる。</p> <p>・主題と応答により構成されるフーガの形式を聴き取り、音楽的効果を理解することができる。</p> <p>・卒業式に向けて心のこもった感性豊かな表現の工夫ができる。</p> <p>・一年間のまとめとして、混声合唱の豊かな響きを味わうことができる。</p>

令和5年度 浅羽野中学校 音楽科シラバス（第3学年）

1 学習目標

- 曲想と音楽の構造や背景などの関り及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようする。
- 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようする。
- 主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

2 学習の進め方

- 1 歌唱では、基礎・基本的な西洋や日本の発声方法を理解し習得すると共に、独唱や齊唱、各パート別の練習を通じ、ハーモニー作りや曲想と歌詞の相関性を意識させながら練習します。
- 2 器楽では、ギター・打楽器・箏を中心とした器楽活動をします。
- 3 創作では、歌詞の抑揚に沿った旋律をつくったり、リズムを組み合わせて情景や様子などを表現したりなど、イメージしたことを音で自由に表現する活動を行います。
- 4 鑑賞では、音楽を形づくっている要素や曲の構造と曲想の関わりなどを発見して様々な音楽を聴きます。

3 評価の観点・評価方法

評価の観点はA・B・Cの三段階です

評価方法

知識・技能	音楽を表現するための基礎的な知識・技能を身に付けている。	→	・授業中の取り組み ・実技テスト ・定期テスト ・ワークシート
思考・判断・表現	音や音楽のよさや美しさを感じ取り、それらを音楽活動の中で創意工夫して生かしている。	→	・授業中の取り組み ・歌唱・器楽・創作・鑑賞 ・実技テスト ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	音や音楽への興味・関心を持って、意欲的に表現しようとする。	→	・授業カード（自己評価） ・提出物 ・授業中の取り組み ・実技テスト ・定期テスト

評 定

学期末に1・2・3・4・5の5段階で示します。

4 学習計画

学 期	おもな学習内容 <学校行事との関わり>	学習のねらい
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の歌を味わおう。 (歌唱) <ul style="list-style-type: none"> ・歌曲「花」 ・歌曲「花の街」 ○オーケストラの豊かな響きを味わおう。 (鑑賞) <ul style="list-style-type: none"> ・交響詩「わが祖国」より ブルタバ ・バレエ音楽「ボレロ」 ○詩に旋律を付けよう (創作) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本歌曲の歌詞の内容や、曲想の表現を工夫して歌うことができる。 ・曲想の変化を感じ取り、曲種に合った発声法で歌うことができる。 ・音楽の様々な要素の働きから生み出されるオーケストラの雰囲気や曲想を理解して表現の美しさを味わう。 ・各標題を手がかりにして楽器の音色や音楽の様々な構成要素を聴き取り、楽曲を味わって聴くことができる ・音楽が人間生活や文化との関わりをもっていることを理解して、聴き取ることができる。 ・言葉や音階の特徴を生かし、詩にふさわしい表現を工夫する。
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ○曲に合った表現を工夫しよう。 <校内合唱コンクール> <ul style="list-style-type: none"> ・学年合唱曲 ・各クラスの合唱曲 ○日本の音楽に親しもう。 <ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎「勧進帳」 ○能と狂言の魅力を味わおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パートの決定とリーダーの選出 ・混合拍子の指揮になれて歌唱表現ができる。 ・声部の役割と全体の響きとの関わりを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ・いろいろな合唱曲に取り組み、表現力を高めることができる。 ・歌詞の内容の理解と表現の工夫ができる。 ・明確な美しい発音の工夫ができる。 ・日本の伝統音楽である雅楽の特徴と時代背景を味わって聴くことができる。 ・能の発声法を言葉の特性を生かして歌うことができる
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ○ポピュラー音楽の魅力を味わおう。 ○ギターの基本的な奏法を理解し、簡単な曲を弾こう。 ○音楽で気持ちを伝えよう <卒業式> <ul style="list-style-type: none"> ・国歌、校歌 ・卒業式合唱曲 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なルーツで誕生したポピュラー音楽の奥深さを感じ取り、複数の楽曲を比較鑑賞することで特徴を聴き分けることができる。 ・姿勢や構え方を意識し、ストローク奏法やアポヤンド奏法等の響きを感じ取り、実際に弾くことができる。 ・歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとの関わりを理解し、楽曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ・卒業式に向けて心豊かに歌唱表現をすることができる ・明確な発音と豊かな響きを持った歌声で混声合唱をし、共通の感動体験を味わうことができる。